

令和4年度
介護予防・日常生活圏域
ニーズ調査結果
報 告 書

大 阪 市

一 目 次

I	調査の概要	1
1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	実施概要	1
(3)	調査項目	2
(4)	報告書の見方	4
2	大阪市の人口	5
3	生活機能評価の考え方	6
(1)	生活機能評価	6
(2)	日常生活評価	6
(3)	社会参加評価	6
II	調査結果	7
II-1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（市全域）	7
1	対象者の属性	7
(1)	記入者	7
(2)	性別	8
(3)	年齢	9
(4)	介護保険の認定状況	10
2	家族や生活状況について	11
(1)	家族構成	11
(2)	介護・介助の状況	12
(3)	暮らしの状況	19
(4)	住居形態	20
3	からだを動かすことについて	21
(1)	運動機能の状況	21
(2)	外出の頻度	26
(3)	外出控えの状況	28
(4)	移動手段	32
4	食べることについて	35
(1)	BMI	35
(2)	口腔機能の状況	36
(3)	口腔ケアの状況	39
(4)	かんで食べる時の状態	43
(5)	体重減少の有無	44
(6)	共食の状況	45

5	毎日の生活について	46
(1)	認知機能の状況	46
(2)	手段的日常生活動作の状況	49
(3)	知的能動性の状況	54
(4)	他者との関わりの状況	58
(5)	趣味や生きがいの有無	62
6	地域での活動について	64
(1)	地域の会・グループ等への参加状況	64
(2)	地域の会・グループ等への参加意向	73
7	介護予防について	75
(1)	介護予防についての意識	75
(2)	介護予防としての取り組み	76
(3)	介護予防に取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由	80
8	たすけあいについて	82
(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	82
(2)	心配事や愚痴を聞いてあげる人	84
(3)	看病や世話をしてくれる人	86
(4)	看病や世話をしてあげる人	88
(5)	相談相手	90
(6)	友人・知人との交流状況	93
9	健康について	98
(1)	主観的健康観	98
(2)	主観的幸福観	99
(3)	現在の生活の満足度	100
(4)	ゆううつな気持ちになったりすること	101
(5)	ゆううつ感や物事に対する興味の喪失感	102
(6)	飲酒習慣	103
(7)	喫煙習慣	104
(8)	治療中や後遺症のある病気	105
(9)	新型コロナウイルス感染症対策の実施	108
(10)	行っている感染症対策	109
(11)	新型コロナウイルス感染症に感染した経験	111
(12)	かかりつけの医師の訪問診療の有無	112
(13)	かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無	113
(14)	かかりつけの薬剤師・薬局の在宅訪問の有無	114
10	認知症にかかる相談窓口の把握について	115
(1)	認知症の症状の有無	115
(2)	認知症に関する相談窓口の認知度	116
(3)	知っている認知症に関する相談窓口	117
(4)	認知症について不安に感じるときの相談相手	119

11	介護サービスの利用前後の健康状態について	121
(1)	介護サービスの利用前後の健康状態	121
(2)	訪問介護サービスや通所介護サービスの満足度	123
12	高齢者向けのお知らせ等、情報の入手先について	124
(1)	高齢者向けのお知らせ等、情報の入手先	124
II-2	生活機能評価等に関する分析	127
1	生活機能評価	127
(1)	運動器の機能低下	127
(2)	閉じこもり傾向	129
(3)	低栄養の傾向	131
(4)	口腔機能の低下	133
(5)	認知機能の低下	135
(6)	うつ傾向	137
2	日常生活評価	139
(1)	手段的自立度（IADL）	139
3	社会参加評価	141
(1)	知的能動性	141
(2)	社会的役割	143
II-3	圏域別調査結果	145
1	日常生活圏域	145
2	全圏域比較	147
(1)	家族構成	147
(2)	住居形態	149
(3)	生活機能評価、手段的自立度、知的能動性、社会的役割	151
III	調査結果からみえてきた 現状と課題	163
1	介護予防に関する課題	163
(1)	介護予防の意識や取り組み状況	163
(2)	相談・情報収集の状況にみる課題	163
2	地域活動における課題	164
(1)	地域活動の参加状況	164
(2)	地域活動の参加意向	164
3	たすけあいに関する課題	165
(1)	心配事や愚痴について	165
(2)	看病や世話について	165
(3)	相談相手について	165
資料編		167

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、大阪市内に居住する65歳以上の高齢者で要介護認定を受けておられない方を対象に、日常生活圏域ごとに、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の課題の特定に資することを目的として実施したものである。

(2) 実施概要

- ① 調査地域：大阪市内全域
- ② 調査対象：令和4年9月1日現在で、市内に在住する要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者の中から52,800人を無作為抽出
《内訳》 ア) 一般高齢者：45,527人
イ) 総合事業利用者（要支援者）：2,566人
ウ) 総合事業未利用者（要支援者）：4,707人
- ③ 調査方法：郵送配布、郵送回収
- ④ 調査期間：令和4年11月8日（火）から令和4年11月25日（金）
- ⑤ 有効回収数〔有効回収率〕：
ア) 一般高齢者：31,779件〔69.8%〕
イ) 総合事業利用者（要支援者）：1,739件〔67.8%〕
ウ) 総合事業未利用者（要支援者）：3,410件〔72.4%〕

<圏域別回収数>

合計： 有効回答数 36,928 件〔69.9%〕				
北区 528件〔66.0%〕	天王寺区 556件〔69.5%〕	生野区 573件〔71.6%〕	阿倍野区 580件〔72.5%〕	東住吉北 586件〔73.3%〕
北区大淀 583件〔72.9%〕	浪速区 510件〔63.8%〕	東生野 527件〔65.9%〕	阿倍野区北部 572件〔71.5%〕	平野区 553件〔69.1%〕
都島区 560件〔70.0%〕	西淀川区 561件〔70.1%〕	鶴橋 530件〔66.3%〕	阿倍野区中部 580件〔72.5%〕	加美 540件〔67.5%〕
都島区北部 568件〔71.0%〕	西淀川区南西部 547件〔68.4%〕	巽 537件〔67.1%〕	住之江区 536件〔67.0%〕	長吉 549件〔68.6%〕
福島区 584件〔73.0%〕	淀川区 574件〔71.8%〕	旭区 566件〔70.8%〕	さきしま 564件〔70.5%〕	瓜破 564件〔70.5%〕
此花区 561件〔70.1%〕	淀川区東部 562件〔70.3%〕	旭区西部 560件〔70.0%〕	安立・敷津浦 566件〔70.8%〕	喜連 565件〔70.6%〕
此花区南西部 535件〔66.9%〕	淀川区西部 570件〔71.3%〕	旭区東部 592件〔74.0%〕	加賀屋・粉浜 582件〔72.8%〕	西成区 511件〔63.9%〕
中央区 539件〔67.4%〕	淀川区南部 575件〔71.9%〕	城東区 575件〔71.9%〕	住吉区 556件〔69.5%〕	玉出 542件〔67.8%〕
中央区北部 567件〔70.9%〕	東淀川区 563件〔70.4%〕	城東・放出 580件〔72.5%〕	住吉区北 583件〔72.9%〕	西成区北西部 497件〔62.1%〕
西区 571件〔71.4%〕	東淀川区北部 579件〔72.4%〕	城陽 577件〔72.1%〕	住吉区東 555件〔69.4%〕	西成区東部 491件〔61.4%〕
港区 548件〔68.5%〕	東淀川区南西部 552件〔69.0%〕	董・鯉江東 547件〔68.4%〕	住吉区西 590件〔73.8%〕	不明 89件
港区南部 552件〔69.0%〕	東淀川区中部 570件〔71.3%〕	鶴見区 566件〔70.8%〕	東住吉区 594件〔74.3%〕	
大正区 536件〔67.0%〕	東成区南部 531件〔66.4%〕	鶴見区西部 582件〔72.8%〕	矢田 534件〔66.8%〕	
大正区北部 558件〔69.8%〕	東成区北部 544件〔68.0%〕	鶴見区南部 585件〔73.1%〕	中野 568件〔71.0%〕	

(3) 調査項目

	調査種別問番号		
	一般高齢者	総合事業利用者	総合事業未利用者
記入者			
性別	(1)	(1)	(1)
年齢	(2)	(2)	(2)
介護保険の認定状況	(3)	(3)	(3)
家族や生活状況について			
家族構成	問1 (1)	問1 (1)	問1 (1)
介護・介助の状況	問1 (2)	問1 (2)	問1 (2)
介護・介助が必要になった原因	問1 (2) ①	問1 (2) ①	問1 (2) ①
介護・介助者	問1 (2) ②	問1 (2) ②	問1 (2) ②
暮らしの状況	問1 (3)	問1 (3)	問1 (3)
住居形態	問1 (4)	問1 (4)	問1 (4)
からだを動かすことについて			
階段を手すりや壁をつたわずに昇ること	問2 (1)	問2 (1)	問2 (1)
座った状態から何もつかまずに立ち上げること	問2 (2)	問2 (2)	問2 (2)
15分位続けて歩くこと	問2 (3)	問2 (3)	問2 (3)
過去1年間に転んだ経験	問2 (4)	問2 (4)	問2 (4)
転倒に対する不安	問2 (5)	問2 (5)	問2 (5)
外出の頻度	問2 (6)	問2 (6)	問2 (6)
昨年と比べた外出の回数	問2 (7)	問2 (7)	問2 (7)
外出控えの有無	問2 (8)	問2 (8)	問2 (8)
外出を抑えている理由	問2 (8) ①	問2 (8) ①	問2 (8) ①
移動手段	問2 (9)	問2 (9)	問2 (9)
食べることについて			
身長・体重	問3 (1)	問3 (1)	問3 (1)
固いものが食べにくくなったこと	問3 (2)	問3 (2)	問3 (2)
お茶や汁物等でむせること	問3 (3)	問3 (3)	問3 (3)
口の渇きが気になること	問3 (4)	問3 (4)	問3 (4)
歯磨きを毎日していること	問3 (5)	問3 (5)	問3 (5)
歯の数と入れ歯の利用状況	問3 (6)	問3 (6)	問3 (6)
噛み合わせ	問3 (6) ①	問3 (6) ①	問3 (6) ①
入れ歯の手入れ	問3 (6) ②	問3 (6) ②	問3 (6) ②
かんで食べる時の状態	問3 (7)		
体重減少の有無	問3 (8)	問3 (7)	問3 (7)
共食の状況	問3 (9)	問3 (8)	問3 (8)
毎日の生活について			
物忘れが多いと感じること	問4 (1)	問4 (1)	問4 (1)
自分で電話番号を調べて、電話をかけること	問4 (2)	問4 (2)	問4 (2)
今日が何月何日かわからないこと	問4 (3)	問4 (3)	問4 (3)
バスや電車を使って1人で外出すること	問4 (4)	問4 (4)	問4 (4)
食品・日用品の買物をすること	問4 (5)	問4 (5)	問4 (5)
食事の用意	問4 (6)	問4 (6)	問4 (6)
請求書の支払い	問4 (7)	問4 (7)	問4 (7)
預貯金の出し入れ	問4 (8)	問4 (8)	問4 (8)
年金などの書類を書くこと	問4 (9)	問4 (9)	問4 (9)
新聞を読んでいること	問4 (10)	問4 (10)	問4 (10)
本や雑誌を読んでいること	問4 (11)	問4 (11)	問4 (11)
健康についての記事や番組への関心	問4 (12)	問4 (12)	問4 (12)
友人の家を訪ねること	問4 (13)	問4 (13)	問4 (13)
家族や友人の相談にのること	問4 (14)	問4 (14)	問4 (14)
病人を見舞うこと	問4 (15)	問4 (15)	問4 (15)
若い人に自分から話しかけること	問4 (16)	問4 (16)	問4 (16)
趣味の有無	問4 (17)	問4 (17)	問4 (17)
生きがいの有無	問4 (18)	問4 (18)	問4 (18)

	調査種別問番号		
	一般高齢者	総合事業利用者	総合事業未利用者
地域での活動について			
地域の会・グループ等への参加状況	問 5 (1)	問 5 (1)	問 5 (1)
地域の会・グループ等への参加意向 ①参加者としての参加	問 5 (2)	問 5 (2)	問 5 (2)
地域の会・グループ等への参加意向 ②企画・運営としての参加	問 5 (3)	問 5 (3)	問 5 (3)
介護予防について			
介護予防についての意識	問 6 (1)		
介護予防として今取り組んでいること	問 6 (2) ①		
介護予防として今後取り組んでみたいこと	問 6 (2) ②		
介護予防に取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由	問 6 (3)		
たすけあいについて			
心配事や愚痴を聞いてくれる人	問 7 (1)	問 6 (1)	問 6 (1)
心配事や愚痴を聞いてあげる人	問 7 (2)	問 6 (2)	問 6 (2)
看病や世話をしてくれる人	問 7 (3)	問 6 (3)	問 6 (3)
看病や世話をしてくれる人	問 7 (4)	問 6 (4)	問 6 (4)
相談相手	問 7 (5)	問 6 (5)	問 6 (5)
友人・知人と会う頻度	問 7 (6)	問 6 (6)	問 6 (6)
1 か月に会う友人・知人の人数	問 7 (7)	問 6 (7)	問 6 (7)
友人・知人の関係	問 7 (8)	問 6 (8)	問 6 (8)
健康について			
主観的健康感	問 8 (1)	問 7 (1)	問 7 (1)
主観的幸福感	問 8 (2)	問 7 (2)	問 7 (2)
現在の生活の満足度	問 8 (3)		
ゆううつな気持ちになったりすること	問 8 (4)	問 7 (3)	問 7 (3)
物事に対して興味がわかない感じがよくあったこと	問 8 (5)	問 7 (4)	問 7 (4)
飲酒習慣	問 8 (6)	問 7 (5)	問 7 (5)
喫煙習慣	問 8 (7)	問 7 (6)	問 7 (6)
治療中や後遺症のある病気	問 8 (8)	問 7 (7)	問 7 (7)
新型コロナウイルス感染症対策の実施	問 8 (9)		
行っている感染症対策	問 8 (10)		
新型コロナウイルス感染症に感染した経験	問 8 (11)		
かかりつけの医師の訪問診療の有無	問 8 (12)		
かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無	問 8 (13)		
かかりつけ薬剤師・薬局の在宅訪問の有無	問 8 (14)		
認知症にかかる相談窓口の把握について			
認知症の症状の有無	問 9 (1)	問 8 (1)	問 8 (1)
認知症に関する相談窓口の認知度	問 9 (2)	問 8 (2)	問 8 (2)
知っている認知症に関する相談窓口	問 9 (3)		
認知症について不安に感じるときの相談相手	問 9 (4)		
介護サービスの利用前後の健康状態について			
訪問介護サービスや通所介護サービスを利用する前の健康状態		問 9 (1)	
訪問介護サービスや通所介護サービスを利用した後の健康状態		問 9 (2)	
訪問介護サービスや通所介護サービスの満足度		問 9 (3)	
高齢者向けのお知らせ等、情報の入手先について			
高齢者向けのお知らせ等、情報の入手先	問 10 (1)		

(4) 報告書の見方

- ① 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- ② 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単一回答であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- ③ 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ④ 図表上の「MA%」という表記は複数回答 (Multiple Answer の略) の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答 (Limited Answer の略) の意味である。
- ⑤ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ⑥ 報告書中の「前期高齢者」は65歳から74歳、「後期高齢者」は75歳以上としている。

2 大阪市の人口

調査時点（令和４年９月１日現在）の大阪市の推計人口については、以下のようになっている。

（単位：人）

	世帯数 (世帯)	総人口	65歳以上人口	(高齢化率)		
					前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
大阪市全体	1,504,902	2,756,527	701,449	(25.4%)	312,488	388,961
北区	88,720	142,823	25,612	(17.9%)	12,405	13,208
都島区	58,067	107,812	26,774	(24.8%)	12,861	13,913
福島区	43,871	80,222	15,117	(18.8%)	6,934	8,184
此花区	32,674	64,723	18,140	(28.0%)	8,113	10,028
中央区	72,284	109,955	16,422	(14.9%)	8,289	8,133
西区	67,008	108,254	16,378	(15.1%)	8,216	8,162
港区	42,824	79,428	22,128	(27.9%)	9,603	12,525
大正区	29,791	60,405	19,573	(32.4%)	8,761	10,811
天王寺区	43,838	84,160	16,457	(19.6%)	7,961	8,496
浪速区	57,141	79,047	13,877	(17.6%)	6,653	7,226
西淀川区	47,551	95,433	24,809	(26.0%)	11,387	13,421
淀川区	106,657	184,392	41,653	(22.6%)	19,413	22,239
東淀川区	100,918	175,834	44,099	(25.1%)	19,449	24,651
東成区	47,169	85,476	21,433	(25.1%)	9,555	11,878
生野区	69,260	126,746	39,750	(31.4%)	16,498	23,253
旭区	45,615	88,982	26,682	(30.0%)	11,354	15,328
城東区	83,671	168,046	42,874	(25.5%)	19,183	23,691
鶴見区	49,502	111,716	25,958	(23.2%)	11,189	14,770
阿倍野区	54,744	111,606	28,745	(25.8%)	12,640	16,107
住之江区	60,095	117,665	37,553	(31.9%)	17,502	20,051
住吉区	79,319	152,108	43,624	(28.7%)	18,370	25,255
東住吉区	63,148	127,358	37,346	(29.3%)	15,445	21,902
平野区	93,443	188,274	55,344	(29.4%)	22,025	33,319
西成区	67,592	106,062	41,100	(38.8%)	18,685	22,415

3 生活機能評価の考え方

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、日常生活圏域ごとに地域の抱える課題の特定に資することなどを目的として実施している。

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、「基本チェックリスト」※¹の質問項目や「手段的自立度（IADL）※²」などの指標の判定に関する項目と同様の項目が設定されている。

本報告書の「Ⅱ-2 生活機能評価等に関する分析」では、これらの項目を使用し、下記に挙げた各指標についての判定を行っている。（それぞれの具体的な判定方法については、127ページからの「Ⅱ-2 生活機能評価等に関する分析」に掲載。）

（１）生活機能評価

「基本チェックリスト」に関する調査項目により、運動器機能、閉じこもり傾向、低栄養傾向、口腔機能、認知機能、うつ傾向などの機能の低下リスクがあるかを判定する。

（２）日常生活評価

活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）が低下している人の状況を把握。IADLの判定は、高齢者の比較的高次の生活機能进行评估することができる「老研式活動能力指標」※³による判定を用いている。

（３）社会参加評価

余暇や創作など生活を楽しむ能力（知的能動性）や、地域で社会的な役割を果たす能力（社会的役割）が低下している人の状況を把握。手段的自立度（IADL）の評価判定で用いた「老研式活動能力指標」の知的能動性、社会的役割に関する調査項目により、社会参加の評価を行っている。

※¹ 「基本チェックリスト」…65歳以上の高齢者が、日常生活に必要な生活機能の低下がないかどうかをチェックするための質問票のこと。要支援・要介護状態等になるおそれが高い高齢者を早期に把握し、必要な支援に適切につなげることで状態悪化を防ぐ目的で活用し、全25項目の質問に対し、「はい」「いいえ」等で記入する。

※² 「手段的自立度（IADL）」…買物、洗濯、電話、薬の管理など、「日常生活動作（Activity of Daily Living：ADL、食事、排泄、更衣、整容、入浴など日常生活を送るために必要な基本動作のことをいう）」より複雑で高度な動作を行える自立度の程度を示す指標を「手段的自立度（Instrument Activity of Daily Living：IADL）」という。

※³ 「老研式活動能力指標」…社会的な生活機能を測る指標で、「バスや電車で一人で外出しているか」、「友人の家を訪ねているか」など13の質問項目により構成されている。その内容は、(1)活動的な日常生活をおくるための動作能力（IADL）、(2)余暇や創作などの積極的な知的活動能力、(3)地域で社会的な役割を果たす能力の3つとなっている。